

山城



子ら測量の奥深さ学ぶ

精華・山田荘小

6年生、机の高さや距離歩測



測量機器をのぞいて高さを測る児童

(精華町桜が丘・山田荘小)

測量の仕事の大切さを伝える体験学習が、精華町桜が丘の山田荘小で開かれた。児童が

機器を使って、身近なものの高さや距離の測

定に挑んだ。

6年生48人が、測量士に教わりながら機器を使い、15分先に置かれた学習机の高さを測ったり、自分の歩幅を割り出して距離を歩測する体験をした。西尾宗次郎さん(11)は「よく見かける人が何をしているかわかった。難しいけど面白い」と話した。

体験学習は「測量の日(6月3日)」にちなみ、京都府測量設計業協会が府内各地で開いており、14回目。同協会の花村浩司理事(73)は「災害復旧時には状況把握のため真っ先に現場に入る大切な仕事だが、知られていない。測量士を目指すきっかけになれば」と期待した。(野坂真輝)